

平成25年6月定例市議会

提 案 説 明 要 旨

総 社 市

それでは、今議会に提案しております議案の主なものについて説明申し上げます。

報告第1号から報告第3号までの3件につきましては、繰越明許費についてで、平成24年度総社市一般会計予算、平成24年度公共下水道事業費特別会計予算及び平成24年度総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算の内、それぞれの事業について、平成24年度に繰越明許費を設定し、平成25年度に繰越したものであります。

次に、議案第54号 総社市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正についてご説明申し上げます。

ごみ袋変動相場制による、総社市指定ごみ袋の料金の値下げに伴い関係条文の整備を行おうとするものであります。

次に、議案第55号 平成25年度総社市一般会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。

今回の補正予算の主なものは、国が発信する全国瞬時警報システムの情報を市の「緊急速報メール」として市民の携帯電話などに自動配信システムを整備するもの、市内で障がい者雇用を推進する自立支援推進員1人を福祉課に配置するものなどで、合計1,280万

円の補正措置をしようとするものです。

いずれも、年度中途における事業推進のため必要となりました経費を計上しております。

次に、意見第1号 人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについてご説明申し上げます。

本市の人権擁護委員の任期の満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定によりまして、市議会の意見を聞き、後任の候補者を推薦しようとするものでございます。

終わりに、平成24年度の決算見込みについて説明申し上げます。

平成24年度決算においては、一般会計の実質収支が約8億4,000万円程度の黒字、特別会計を合わせまして約10億1,000万円程度の黒字となる見込みでございます。また、市民税及び地方交付税が増収となり、予定していた財政調整基金等からの繰入れを行わずに済んだこと、財政調整基金に2分の1相当額を積み立てることとなっている決算剰余金が平成23年度決算において想定以上に生じたことなどから、主要5基金の残高は、決算ベースで約50億円となる見込みでございます。

これは、地方交付税等が当初予算と比べ増収となったことや、企

業誘致へ取り組んできたことにより，新たな財源を確保できたこと，また，行財政改革に積極的に取り組むとともに，平成24年度当初予算編成においても，ゼロシーリングを徹底し，選択と集中による無駄の無い予算編成を行った結果が数値として表れたものと思います。全力で引き続き財政健全化に取り組んでまいりたいと思っておりますので，今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今議会に提案しております議案は，

報告に関するもの	4件
条例の一部改正に関するもの	1件
平成25年度補正予算に関するもの	2件
意見	1件
計	8件

でございます。

引き続きまして，担当職員から説明を申し上げますので，いずれの議案につきましても，十分御審議をいただきまして，適切な御議決を賜りますようお願い申し上げます。提案説明とさせていただきます。